

復興は その笑顔から！

地震後の元気な能登をアピールしています。



震度6強の能登半島地震から二ヶ月余りがたちました。

日本有数の観光地である能登半島を襲った今回の地震は、被災後二ヶ月たった今日もまだその爪あとを市内の随所に残していますが、被災された方々の多くは落ち着きを取り戻し、以前の生活に戻りつつあります。今回の地震による観光地としての能登半島は、風評による観光客の減少など今後取り組む多くの課題を残しています。風光明媚な能登半島に一日も早く以前のような活気を取り戻し、多くの方々に訪れていただくため、復興に向けての取り組みが行われています。

「ピンチをチャンスに」 安倍首相が和倉温泉女将の会を 激励

和倉温泉の女将の会では、5月の連休中に和倉温泉を訪れてくれた方をお出迎えしようと駅に向いたほか、5月9日県庁に谷本知事を、ま

た15日には安倍首相を首相官邸に訪ねて復興への支援を要請しました。首相からは「災害のピンチのときこそチャンスがある。頑張ってください。」と激励を受けました。また、女将の会では県内外の各種物産展や催しに積極的に出向き、元気な能登をアピールしています。

「負けるな！能登半島」 オリジナルジャンパーでボランティア活動

七尾市に本店を置くのと共栄信用金庫では、平成7年より毎月17日のカジュアルデーに合わせボランティア活動を行っています。

今回の地震により被害を受けたのは自分達であることから、第3者的な言い方でなく、被害の当事者として「負けるな」と自分達に言い聞かせるつもりで作ったジャンパーを着用し、5月17日の早朝から100名ほどの職員が小丸山公園周辺の除草作業を行いました。



右：神戸市内のイベント会場で和倉温泉をアピールする女将の会
 上：パトリア前で熱演する石川ジュニア・ジャズ・アカデミーバンド
 左上：「負けるな！能登半島」のオリジナルジャンパーで奉仕活動中の
 金融機関職員
 左下：能登食祭市場前の道路に掲げられた応援旗

美しい能登を とりもどそう

石川ジュニア・ジャズ・アカデミーバンドが元気にライブ

昨年5月県内の学校も学年も違う小中高生がジャズをとおして、個性と協調を養うことを目的に設立された石川ジュニア・ジャズ・アカデミーバンド（以下こじん）が5月12日震災を受けた街に元気を出してもらおうとパトリア前でコンサートを行いました。

ました。

地震のあった25日はちょうど、4月に予定していたコンサートにむけ合宿中で、メンバーの中にも被害を受けた方もいました。

今回のコンサートは被災した能登に元気を与え、以前の美しい能登を取り戻そうと企画され、軽快なリズムが聴衆者を楽しませていました。今後は7月に行われるモンテレージャズフェスティバルイン能登にも出演する予定です。

1009件の義援金

5月23日現在で七尾市に寄せられた義援金は、1009件、総額41,501,524円になりました。

北は札幌市の方から南は鹿児島県垂水市の方まで全国各地の方から頂きました。

市では頂いた義援金を被害を受けた方々に、県の義援金に上乘せし配分しています。

義援金申請は 6月30日まで

県・市の「能登半島地震災害義援金」の申請手続きの期限は6月30日までとなっております。対象の方でまだ手続きがお済みでない方はお早めに手続きください。

住宅応急修理制度は 7月24日工事完了

半壊以上の被害を受けた方で居室、炊事場、便所等日常生活に必要な部分を修理する「住宅応急修理制度」は7月24日までに工事を完了しないと支援が受けられなくなります。

地震被害相談窓口の 時間帯変更のお知らせ

市では今回の地震災害から速やかな復旧・復興を図るため「震災復興本部」を設置。また、これまでの各種相談窓口の時間帯が変更になりました。

本庁 平日 8:30～17:00
 土曜 8:30～12:30
 各市民センター 平日のみ

☎ 53-11137